

別 紙

日建連表彰 2022 受賞一覧

The Winners of the JFCC Award 2022

第 3 回土木賞【12 件】 / 第 63 回 BCS 賞【15 件】

一般国道40号 音威子府村 音中トンネル工事



所在地 北海道中川郡音威子府村
 竣工日 2022年3月29日
 発注者 北海道開発局 旭川開発建設部
 土別道路事務所
 設計者 パシフィックコンサルタンツ
 施工者 清水・伊藤・岩倉特定JV
 関係者 山崎建設東京支店
 佐々木・広谷建設
 苦重建設
 旭都鉄筋工業所
 エイチ・アール・オー
 エーティック

蛇紋岩の強大地圧下における山岳トンネルの建設

強大な土圧と、脆弱で硬軟不均一な蛇紋岩域、破碎帯、緑色岩等の複雑な地質の開削という過酷な施工環境下でのトンネル工事。一旦は、崩落によるトンネル閉塞に至ったものの、史上最大規模の真円形三重支保工の採用、中央導坑先進工法、計測と数値解析による覆工設計等の新規技術を順次投入することで、10年に亘る難工事を完遂した。

千本ダム耐震補強改修プロジェクト

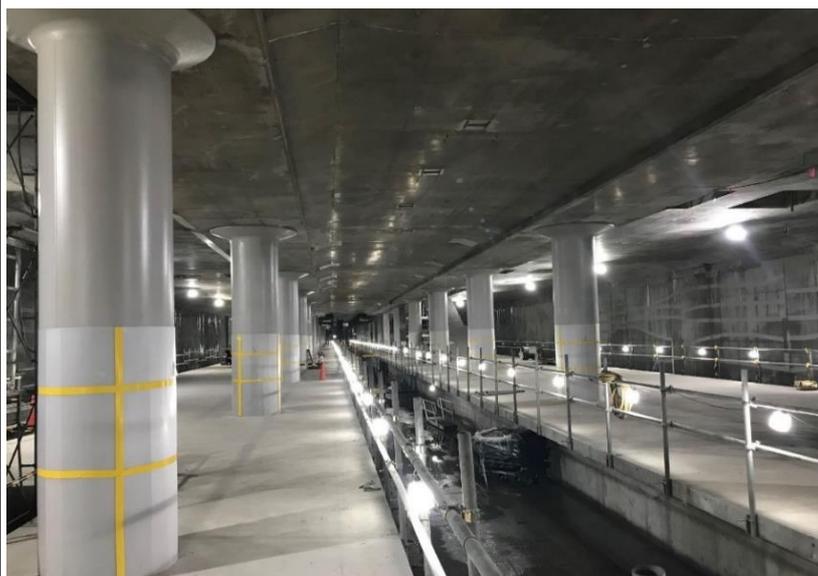


所在地 島根県松江市
 竣工日 2020年12月23日
 発注者 松江市上下水道局
 設計者 ダム技術センター
 中電技術コンサルタント
 施工者 大林組
 関係者 日特建設
 大林道路
 藤井基礎設計事務所
 田部石材

市民生活を支えて100年、文化遺産のインフラをメンテナンスでさらに100年

有形登録文化財に指定された築100年の水道ダムを、水の供給を続けたまま耐震補強する工事。堤体天端から基礎岩盤に向けてアンカーを設置する「堤体PS（プレストレス）アンカー工法」を国内で初採用し、ダムの景観を保ったままリニューアルした。従来工法に比べ工期は5分の1、工費は半分以下と、経済的なメリットも大きかった。

相鉄東急直通線 新横浜駅地下鉄交差点土木工事



所在地 神奈川県横浜市
 竣工日 2022年1月31日
 発注者 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
 横浜市交通局
 設計者 八千代エンジニアリング
 日本交通技術
 施工者 鹿島・鉄建・不動テトラ・NB建設JV
 関係者 オックスジャッキ
 東亜利根ボーリング
 協拓建設
 ケミカルグラウト
 寺尾運輸興業
 新光工業
 タイヨー建設
 高幸建設

駅の下に駅をつくる～駅前交差点直下における大規模アンダーピニング

既存地下駅の直下に新駅を築造。工程短縮のため、土留掘削と並行して既存駅底部にアクセスするNATM導坑を掘削し、重量6800 tの既存駅舎の先行仮受けを実施。高度な変位・荷重自動制御システムによる情報化管理を導入し、躯体の健全性、営業線の安全な運行を確保して無事竣工した。

高尾川地下河川整備事業

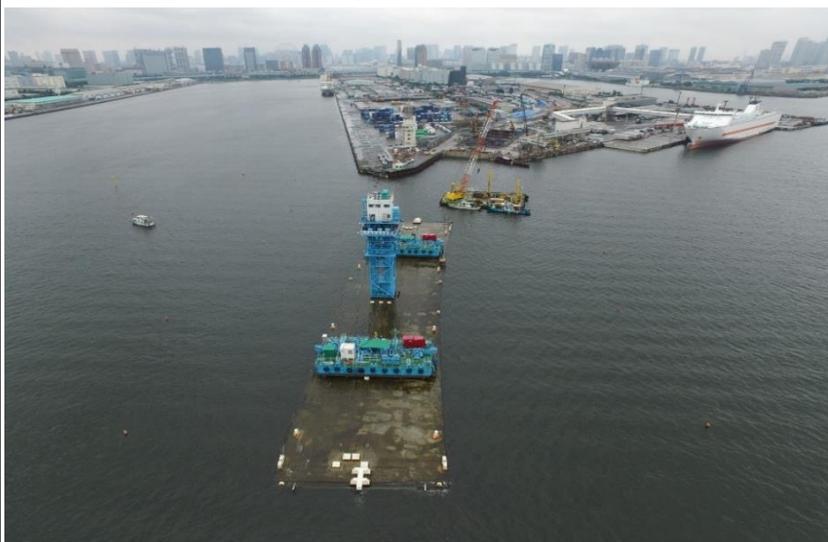


所在地 福岡県筑紫野市
 竣工日 2020年7月30日
 発注者 福岡県
 設計者 中央コンサルタンツ
 施工者 安藤ハザマ・大豊・環境施設特定
 JV
 関係者 青山機工
 日豊建設
 ライト工業九州支店
 地中空間開発

住宅密集地を流れる河川直下での地下河川整備

高頻度で発生している高尾川床上浸水被害の対策として、用地買収を伴わないように、河川の直下に地下河川をシールド工法で構築。このため、トンネル施工は、風化花崗岩を低土被りで、全線の50%以上が連続多急曲線という厳しい条件であった。それを施工中のビット仕様変更、カッターヘッドの改良、添加材の変更等で掘進を貫通させ、河川氾濫防止を実現した。

東京港臨港道路南北線沈埋函（4号函・5号函・6号函） 製作・築造等工事

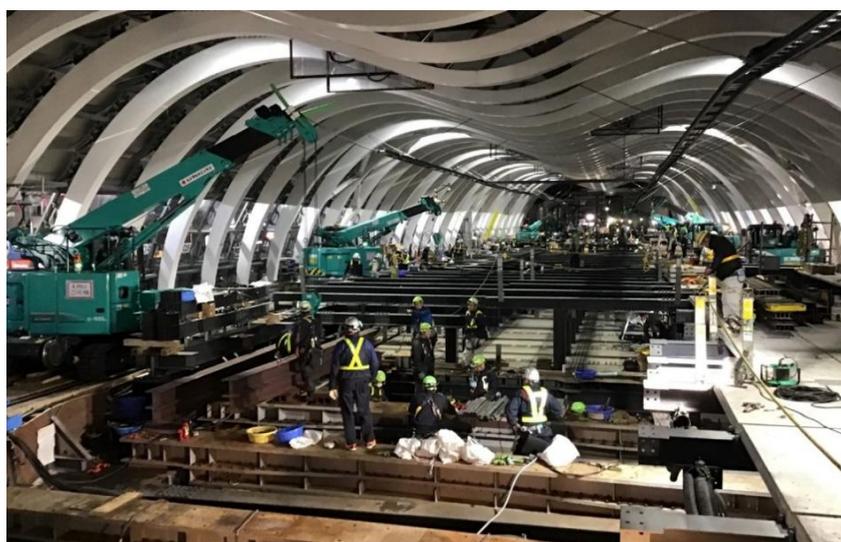


所在地 東京都江東区
 竣工日 2020年5月29日
 発注者 関東地方整備局
 関東地方整備局東京港湾事務所
 設計者 オリエンタルコンサルタンツ
 日本シビックコンサルタント
 日本工営
 施工者 五洋・東洋・新日鉄住金エンジ特定JV
 関係者 エム・エムブリッジ東日本支店
 三井住友建設鉄構エンジニアリング
 深田サルベージ建設横浜支店
 渋谷潜水工業
 真栄測量

海中における長大コンクリート構造物（沈埋トンネル函）の接合への挑戦

海の森トンネル海上部での沈埋トンネル工事。東京臨海部で巨大な構造物を鋼殻を分割製作し東京湾へ海上輸送、浮遊ヤードに係留してコンクリート打設を行うなどの工夫がされた。工程上のボトルネックとなる最終継手を省略する『キーエレメント工法』、可とう性継手は『クラウンシール式継手』を採用。工程を大幅に短縮し、CIMを活用した高精度な施工が行われた。

東京メトロ銀座線渋谷駅移設工事



所在地 東京都渋谷区
 竣工日 2021年3月15日
 発注者 東京地下鉄
 設計者 メトロ開発
 施工者 東急・清水・鹿島JV
 関係者 白岩工業
 宮地エンジニアリング
 東急軌道工業

鉄道営業線大規模改良工事におけるBIM/CIMの実践

日本有数の繁華街「渋谷」の中心で、周囲を商業ビル等に囲まれた狭隘な立地条件の下、同位置で鉄道営業しながら旧構造物を撤去し新構造物を構築。さらに、土木だけでなく、軌道、信号、通信、電力の工事関係者、新ホームに必要な建築駅設備、駅員、乗務員と協議、合意形成を行い、BIM/CIM、VR技術を駆使して限られた時間内に難しい条件での工事を成し遂げた。

東北自動車道 十和田管内高速道路リニューアル工事

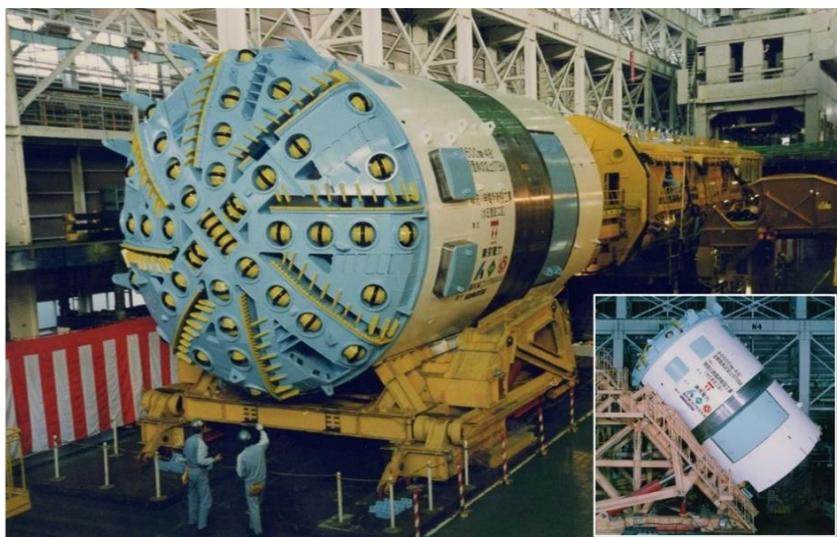


所在地 岩手県八幡平市～青森県平川市
 竣工日 2022年3月22日
 発注者 東日本高速道路東北支社十和田管理事務所
 設計者 八千代エンジニアリング 熊谷組
 施工者 熊谷組・ショーボンド建設東北自動車道十和田管内高速道路リニューアル工事特定JV
 関係者 川崎技興 栄建設

フルプレキャスト・コッター床版工法を用いた新しい建設システムの構築

点在する5ヶ所の橋梁の床版を、冬季や連休、夏休みの混雑期を避けるため、1年の半分の時間での取替えが求められた。工期短縮のため、プレキャスト床板を用い現場打ちコンクリートを必要としない新工法「コッター床版工法」を採用。関係者が一丸となり、フルプレキャスト化へ改善を加えながら、生産性を大きく向上させる新しい建設システムを構築した。

発電所水圧鉄管路のTBMによる斜坑掘削プロジェクト (神流川発電所)

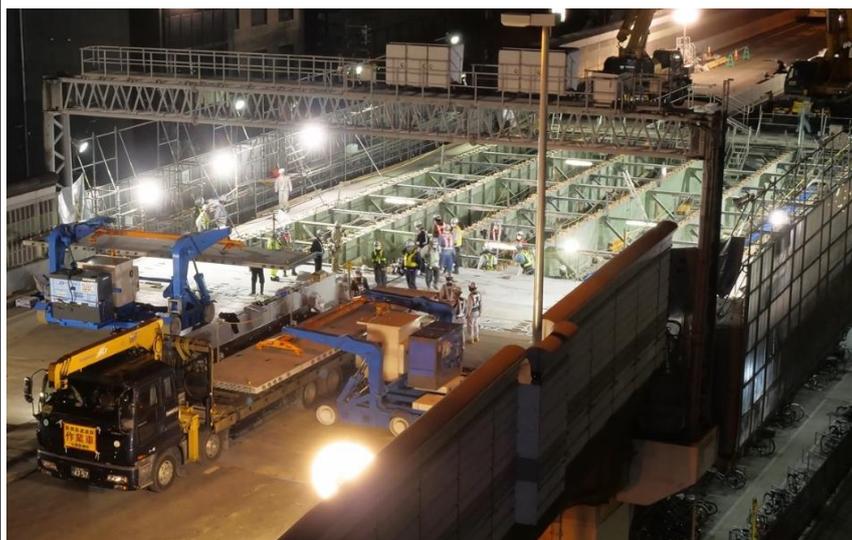


所在地 群馬県多野郡上野村
 竣工日 2008年4月30日
 発注者 東京電力リニューアブルパワー
 設計者 東京電力リニューアブルパワー
 施工者 奥村組・フジタ・銭高組特定JV
 関係者 村崎建設
 小松製作所
 丸太運輸
 三菱重工業
 東洋電機工業
 計測テクノ
 塚本建設

グリーン社会の実現に向けた水力発電需要に貢献する斜坑掘削技術の発展

従来の水圧管路の斜坑掘削は、小断面の導坑を下方から上向きに掘削した後、その導坑をずり出し坑として使いながら切り抜けを行う2工程掘削であった。全断面斜坑TBM工法は、下方から上向きに掘削する1工程だけの工法であり、本工事の全断面斜坑掘削は国内初で、斜坑掘削TBMとして世界的にも最大級。700mを超える高低差にもかかわらず、高精度で安全に高品質に貫通した。

阪神高速12号守口線床版更新工事



所在地 大阪府大阪市
 竣工日 2021年4月30日
 発注者 阪神高速道路
 設計者/ 飛鳥建設
 施工者 鹿島建設
 関係者 第一カッター興業
 オリエンタルコンサルタンツ
 富士ピー・エス
 デンカ
 住友電気工業
 丸栄コンクリート工業
 ケイコン
 カジマメカトロエンジニアリング
 リテックエンジニアリング
 橋梁技建

既設床版急速撤去工法と高耐久軽量PCaPC床版を用いた床版更新技術の高度化

阪神高速における老朽化が著しい合成床版の更新工事。オールプレキャスト化した超高強度繊維補強コンクリート製の床板により更新後の耐久性を高めた他、旧床板撤去もウォータージェットを活用するなどして通行止時間を短縮化し低騒音・低振動で行う様々な工夫がなされた。本格的な更新時代に向けて、更なる改良発展も期待される。

山須原発電所ダム通砂対策工事のうち土木工事



所在地 宮崎県東臼杵郡美郷町
 竣工日 2022年5月31日
 発注者 九州電力
 設計者 西日本技術開発
 施工者 前田建設工業・青木あすなろ建設・松本建設JV
 関係者 横山基礎工事
 塩月工業
 大阪防水建設社
 ノダック
 志誠健
 寄神建設九州支店
 丸島アクアシステム
 外蘭運輸機工
 梶原建設クレーン
 倉本鐵工

国内初！3ダム連携通砂事業を目指したダムリニューアルへの挑戦

耳川水系総合土砂管理計画の中核となる3ダム連携通砂事業の起点となる山須原発電所ダムの通砂促進工事。ダムの発電運用を継続しながら出水期の安全な放流を確保するため、出水期を跨ぐ厳しい制約条件の中、仮締切及び既設堤体の改造を様々な創意工夫の下に実現した。

史跡鳥取城跡擬宝珠橋復元工事

(特別賞)



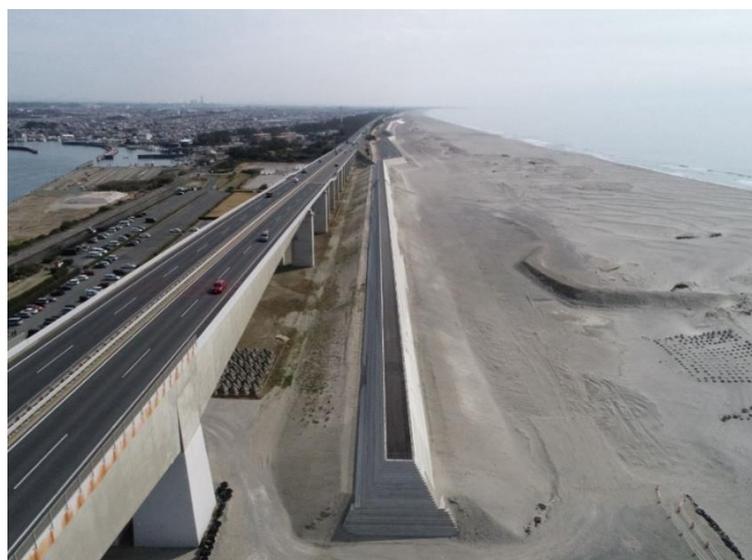
所在地 鳥取県鳥取市
 竣工日 2019年3月29日
 発注者 鳥取市教育委員会事務局文化財課
 設計者 文化財保存計画協会
 大日本コンサルタント
 施工者 戸田建設
 関係者 NPO法人小田原鋳物研究所
 渡辺梵鐘
 いちい
 日鉄ステンレス
 檜崎製作所
 川本造園
 大昌エンジニアリング
 モクラボ
 平山工務店

文化財である城跡の木造橋を日本初の工法で復元

旧橋の橋脚遺構の残る同一座標上に木橋を復元するため、ステンレス水中梁と木橋のハイブリッド構造を採用し、歴史的建造物の完全保存と耐久性向上を両立。また、鉋仕上げ、台持ち継ぎによる接続、擬宝珠の表面仕上げ等の伝統的な工法を継承した“モノづくりの原点”として、施工プロセスを支える技能労働者の伝統技能を生かし、技術の伝承に貢献している。

浜松市沿岸域津波対策施設等整備事業 浜松防潮堤建設工事

(特別賞)



所在地 静岡県浜松市
 竣工日 2020年5月7日
 発注者 静岡県
 設計者 日本工営
 施工者 前田建設工業
 西松建設
 須山建設
 中村組
 中村建設
 林工組
 鈴木組
 関係者 浜松建設業組合、浜松市、
 赤堀産業、泉組、伊藤組、
 植松鈴木組、小笠原マル鼻、
 小松組、西遠建設、常盤工業、
 とやま建材、浜建、藤野建設、
 水野組、山平建設

地元と共に造った「CSGによる“日本最長”防潮堤」

南海トラフ巨大地震に備え、地元篤志家及び市民からの寄付金により、遠州灘に「地元による地元のためのCSG防潮堤（17.5Km）」を築造。地元建設会社による複数工区をCM会社が統括マネジメントし、現地発生土を有効活用、CSGプラント運転・ダンプ運搬の最適管理を駆使して効率的に事業を実施するなど、今後の地域防災の取組みに大きな影響を与えた。

熊本城特別見学通路



所在地 熊本県熊本市中心区本丸地内

竣工日 2020年3月31日

建築主 熊本市

設計者 日本設計

施工者 安藤・間
武末建設
勝本工務店

熊本の過去と未来を繋ぐ希望の架け橋

被災した熊本城の復旧工事完了までの20年間、この架け橋によって復旧工事を安全に見学できることが可能になり、さらにそれまではなかった新たな視点場を創出できたことは私たちにとって大きな希望となるだろう。

熊本都市計画桜町地区第一種市街地再開発事業



所在地 熊本県熊本市中心区桜町3-10
他

竣工日 2019年9月10日

建築主 熊本桜町再開発
九州産業交通ホールディングス
関電エネルギーソリューション

設計者 日建設計
太宏設計事務所

施工者 大成建設
吉永産業
岩永組
三津野建設
新規建設

熊本城を観望する都市再生の拠点

バスターミナル、ホール、シネコン、ホテル、オフィス、住宅等の複合開発が高い次元で調和し、拠点性が発揮されている。解放された屋上緑化空間は回遊性を生み、シンボル熊本城との一体性、親和性を醸し出している。

GREEN SPRINGS



地域の価値を高めた新たな人と自然の居場所

「空と大地と人がつながるウェルビーイングタウン」というコンセプト通りの人の居場所がここに
つくられている。寛容で風通しのよい爽やかな実体は人々の心の拠り所になるだろう。

所在地 東京都立川市緑町3-1
 竣工日 2020年2月29日
 建築主 立飛ホールディングス
 多摩信用金庫
 設計者 スタジオタクシミズ
 ランドスケープ・プラス
 山下設計
 大林組
 清水建設
 CURIOSITY
 LIGHTDESIGN
 井原理安デザイン事務所
 POOL
 フレームワークス
 シアターワークショップ
 施工者 大林組
 清水建設
 中島建設
 中村建設

国立競技場



人間・環境 親和性を未来に問うスタジアム

巨大なスタジアムにあって、深い軒庇と縁側など、日本独自の自然の景、水と緑・風を取り込む建
 築。人間と環境の距離を見つめ直し、「親しみと調和（親和）」へ誘い、かつ世界的スポーツイ
 ベント等を通して平和とは何かを問いかけるレガシー建築。

所在地 東京都新宿区霞ヶ丘町10-1ほ
 か、東京都渋谷区千駄ヶ谷1-
 15-1ほか
 竣工日 2019年11月30日
 建築主 独立行政法人日本スポーツ振
 興センター
 設計者 大成建設
 梓設計
 隈研吾建築都市設計事務所
 施工者 大成建設

THE HIRAMATSU京都



所在地 京都府京都市中京区室町通三条上る役行者町361

竣工日 2020年1月15日

建築主 NTT都市開発

設計者 日建設計
大林組
中村外二工務店

施工者 大林組

DNA継承型の京町家／保存再生

ここで実現された保存再生は、歴史的建造物をそのまま残す保存改修ではなく、空間性や美意識・伝統技術など町家の遺伝子を受け継いだ歴史の発展的継承である。歴史の継承と経済性を共存させ、困難な状況にある京町家の保存に新たな可能性を切り拓いた。

三栄建設 鉄構事業本部新事務所



所在地 大阪府大阪市大正区南恩加島6-2-21

竣工日 2020年10月31日

建築主 三栄建設

設計者 竹中工務店

施工者 竹中工務店

風通しの良い関係性を鉄の技術で

規模が大きくなることで希薄になる組織間の関係性をダイレクトにつなぎ留めることを目的に、立体ボロノイが採用され、その境界線を自社の鉄骨加工技術で成立させている。建物内には鉄材による緊張感と、緩やかな空間のつながりの心地良さが同居している。

ダイヤゲート池袋



所在地 東京都豊島区南池袋1-16-15
 竣工日 2019年2月28日
 建築主 西武鉄道
 西武リアルティソリューションズ
 設計者 日建設計
 トーニチコンサルタント
 施工者 大林組
 西武建設

線路上空を使った優良な社会資産

鉄道線路上空にデッキを架けることにより、鉄道によって分断されていたまちをシームレスにつなげる広場を創出している。その広場上空に大きなワンプレートオフィスを構築し、地区の魅力と価値の向上に寄与している。

谷口吉郎・吉生記念金沢建築館



所在地 石川県金沢市寺町5-1-18
 竣工日 2019年5月31日
 建築主 金沢市
 設計者 谷口建築設計研究所
 施工者 清水建設
 豊蔵組
 双建

都市と建築を発信するミュージアム

歴史ある金沢の保存地区の入口で犀川を望む段丘に立つ、日本初の公立建築ミュージアム。金沢所縁の建築家の偉業を再現し、それを収蔵する建築の佇まいも「展示品」とすることで、重層的な建築文化の発信拠点となっている。

東京大学総合図書館



所在地	東京都文京区本郷7-3-1
竣工日	2021年1月31日
建築主	国立大学法人東京大学
設計者	東京大学キャンパス計画室・ 同施設部 香山建築研究所 清水建設
施工者	清水建設

伝統の再生と未来指向の図書館への挑戦

旧図書館は単に設立当初に復元するのではなく歴史的な記憶を残すことをコンセプトとして再生している。そこに最も騒々しい交流の場を目指した「知の円形劇場」を設け、地下46mの書架を重ね合わせることで、新たな知の拠点が整備された。

東京都公文書館



所在地	東京都国分寺市泉町2-2-21
竣工日	2020年1月6日
建築主	東京都
設計者	佐藤総合計画
施工者	五洋建設

快適な公開性と高い保管機能の対比表現

1階に魅力的な文書閲覧スペースを持つ開放的な公文書館。一転して、2、3階は外壁と書庫内壁の間に緩衝領域を設けた「魔法瓶構造」をとり外装はルーバーによる閉鎖的な表情とし、公開と保管の対比的な建築デザインとしている。

長野県立美術館



所在地 長野県長野市箱清水1-4-4
 竣工日 2020年3月19日
 建築主 長野県
 設計者 プランツアソシエイツ
 施工者 清水建設
 新津組

ゆかしき空間展開が周囲をも賦活

東山魁夷館、善光寺がもつ軸線と整合させつつ、高低差を巧みに利用して展開するゆかしき空間群は、近隣環境とさりげなく融合し、周囲の市民の活動がそのまま流れ込んできているかのような賑わいのある美術館を実現している。

延岡駅周辺整備プロジェクト



所在地 宮崎県延岡市幸町3-4266-5
 竣工日 2018年3月9日
 建築主 延岡市
 設計者 乾久美子建築設計事務所
 延岡設計連合協同組合
 施工者 上田工業
 児玉建設
 朋幸産業
 久米建設

みんなで育てる市民交流ステーション

街の中心であった駅前に賑わいを取り戻すため、市民・行政・建築家が一体になり、つくりあげた複合施設。市民が自由に使いこなし、活動の様子を身近に感じ、偶然の出会いを生む、駅であることの魅力が存分に生かされている。

Hareza 池袋



所在地 東京都豊島区東池袋1-18-1, 1-19-1, 1-20-10, 1-16-1

竣工日 2020年5月31日

建築主 東京建物
サンケイビル
豊島区

設計者 鹿島建設
伊藤喜三郎建築研究所

施工者 鹿島建設
松尾工務店

アーバンスクリーンが生み出す池袋の祝祭空間

3棟の建物の低層部を統一したスクリーンとしてデザインし街区レベルで修景し、隣接の公園と連携したアクティビティを組み込み、イベント空間としての公園の可能性を拡張し、池袋ならではの祝祭空間を生み出している。

横浜市庁舎



所在地 神奈川県横浜市中区本町6-50-10

竣工日 2020年5月29日

建築主 横浜市

設計者 竹中工務店
楨総合計画事務所

施工者 竹中工務店
西松建設

SDGs未来都市を体現した新市庁舎

水辺のランドスケープ、低層部の市民活動スペース、中・上層部の立法と行政の等価な扱いの明快な空間構成を、白を基調とした端正な建築として実現している。さらに、ZEB Ready達成と使用電力のRE100化によってカーボンニュートラルを達成している。

早稲田大学37号館 早稲田アリーナ



所在地 東京都新宿区戸山1-24-1

竣工日 2018年11月30日

建築主 学校法人早稲田大学

設計者 山下設計
清水建設
プレイスメディア

施工者 清水建設

アリーナの地下化と「戸山の丘」の創出

6000人収容のアリーナを地下に埋設し、地下建築であることを利用した大空間の環境制御が行われている。地表は「戸山の丘」と称する良質な緑化の施された居心地のよい広場として学生や地域住民に活用されている。